

# 情報連絡員総括表（2022年8月）

## － 静岡県中小企業団体中央会 －

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI 値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI 値の推移（グラフ）

### ・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI 値は基準値  $\pm 0.0$ (=横ばい)で推移  
 ※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

## 1. 概況報告 (回答者数 58 名 : 回収率 96.7%)

○2022年8月のDI 値は、前月との比較において9指標すべてが改善した。

受注・売上の持ち直しが一部で見られるものの、全体には足踏み状態。改善傾向にあるDI 値であるが、「収益状況」はマイナス 29.3、「業界の景況」はマイナス 24.1 と厳しい状況が続いている。

○「製造業」では、前月との比較において、「売上高」を除く8指標が改善。「売上高」は横ばいとなった。「設備操業度」は 23.3 ポイント、「在庫数量」は 16.6 ポイントの上昇となり、生産活動が上向きつつある傾向はみられるが、依然、仕入価格の高騰や取引条件の厳しい状況は続いている。

電気機械器具製造業からは、「海外部品の調達問題の解消につれて生産は拡大しているが、まだ一部の部材に問題があり、完全回復には至っていない」とのコメントが寄せられた。

○「非製造業」では、前月との比較において、「売上高」「販売価格」「取引条件」「雇用人員」「業界の景況」の5指標が改善。「収益状況」を含むその他3指標が悪化した。

受注・売上は少しずつ上向き傾向にあるものの、燃料費や仕入価格の高騰が続き「収益状況」は 10.7 ポイント悪化。今後の人材不足への懸念もみられる。

建設業（職別工事業）からは、「コロナの影響も含め労務不足が顕著になっている。そのため請負単価が底上げされ、価格交渉が難航している」との声が寄せられた。

(DI 値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2022年8月	5.2	-6.9	32.8	-8.6	-29.3	-19.0	6.6	-13.8	-24.1
2022年7月	3.5	0.0	20.7	-19.0	-31.0	-20.7	-16.7	-20.7	-29.3
増減	1.7 ↑	-6.9 ↑	12.1 ↑	10.4 ↑	1.7 ↑	1.7 ↑	23.3 ↑	6.9 ↑	5.2 ↑

## 2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値		増減		DI値		増減		DI値		増減	
売上高	2022年8月	3.3	0.0	ポイント	-	7.1	3.6	ポイント	↑	5.2	1.7	ポイント	↑
	2022年7月	3.3				3.5				3.5			
在庫数量	2022年8月	-3.3	-16.6	ポイント	↑	-15.4	15.4	ポイント	↓	-6.9	-6.9	ポイント	↑
	2022年7月	13.3				-30.8				0.0			
販売価格	2022年8月	20.0	6.6	ポイント	↑	46.5	17.9	ポイント	↑	32.8	12.1	ポイント	↑
	2022年7月	13.4				28.6				20.7			
取引条件	2022年8月	-16.6	3.4	ポイント	↑	0.0	17.8	ポイント	↑	-8.6	10.4	ポイント	↑
	2022年7月	-20.0				-17.8				-19.0			
収益状況	2022年8月	-30.0	13.3	ポイント	↑	-28.5	-10.7	ポイント	↓	-29.3	1.7	ポイント	↑
	2022年7月	-43.3				-17.8				-31.0			
資金繰り	2022年8月	-13.4	10.0	ポイント	↑	-25.0	-7.1	ポイント	↓	-19.0	1.7	ポイント	↑
	2022年7月	-23.4				-17.9				-20.7			
設備操業度	2022年8月	6.6	23.3	ポイント	↑					6.6	23.3	ポイント	↑
	2022年7月	-16.7								-16.7			
雇用人員	2022年8月	-6.7	10.0	ポイント	↑	-21.5	3.5	ポイント	↑	-13.8	6.9	ポイント	↑
	2022年7月	-16.7				-25.0				-20.7			
業界の景況	2022年8月	-30.0	6.6	ポイント	↑	-17.8	3.6	ポイント	↑	-24.1	5.2	ポイント	↑
	2022年7月	-36.6				-21.4				-29.3			

## 今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況				
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化			
製造業	食料品	1	1	1	1	1	0	0	1	0	1	0	2	0	0	1	0	0	2			
	繊維工業	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	1	0	2			
	木材・木製品	0	2	1	0	1	1	0	2	0	3	0	1	0	1	0	0	0	2			
	紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1			
	印刷	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
	窯業・土石製品	1	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0			
	鉄鋼・金属工業	2	1	0	1	0	0	0	2	1	2	1	2	1	1	0	2	0	2			
	一般機器	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1			
	電気機器	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0			
	輸送用機器	2	3	2	2	0	1	1	1	1	3	1	1	2	1	2	2	2	2			
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
非製造業	卸売業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	X								
	小売業	0	4	0	2	4	1	0	2	0	5	0	3					0	0	0	1	
	商店街	2	2	1	1	3	1	0	1	1	2	1	2					0	3	1	1	
	サービス業	4	0	X		3	0	0	0	3	0	1	0					1	0	3	0	0
	建設業	1	2			3	0	2	0	1	3	0	1					0	2	0	2	
運輸業	2	0	X		2	0	1	0	0	3	0	3	1	1	0	1						

### 3.情報連絡員からの報告

#### 製造業

水産食料品	・水産業界において冷凍・冷蔵設備は不可欠なものであり、その電気使用量が最も多くなる夏場を迎え、電気料金の高騰が続くことは非常に厳しい状況。
パン	・アメリカやカナダの小麦の不作やウクライナ情勢により、政府が製粉会社に売り渡す輸入小麦の価格は4月には17.3%の値上げとなった。10月にはさらに20%程度の値上がりの可能性があったが、政府は家計負担を緩和するため価格を据え置く予定である。
織物	・長引くコロナ、ウクライナ情勢等で原材料価格の高騰が続く中、販売価格に転嫁できず苦戦を強いられている。この状態がしばらく続くだろう。業界の弱点である高年齢化で織屋1件の廃業があった。
宗教用具	・売上は微増しているが、本格的な動きは見られない状況が続いているため、コスト高を売値に転嫁せざるを得ない。
製材業、木製品	・新規住宅着工数の減少傾向から需要に一服感が生じ、製材工場の操業度が下がりはじめた。既に、仕入れや販売価格に反映されている。経営の舵取りが難しい局面に入った。
骨材・石工品等	・売上は不変の事業所が多い。増加の事業所もあるが、設備維持費等コストが増加しており収益は変わらない。
金属製品	・原材料高が収益率を悪化させている。
	・全体的に好転してきているが、取引条件は悪化している。
	・コロナ感染者が増え、濃厚接触者も増えたことから、従業員が休業して人員不足となり、操業に影響が出ている。
生産用機械器具	・原材料費、特に電力料金の値上がりが想定以上で、今後も値上げが続く予測から収益性確保に厳しさが増している。
電気機械器具	・大型冷蔵庫は年初より販売好調が続いており、前年を上回る生産が継続している。 ・家庭用・業務用エアコンは海外部品の調達問題の解消につれて生産は拡大しているが、まだ一部の部材に問題があり、完全回復には至っていない。
輸送用機械器具	・一部の組合員企業で売上げが好転しているが、多くの組合員企業は横ばいもしくは減少している。さらに、電力料金の高騰や材料費の上昇などにより負担が増大している。取引先企業の発注価格の見直しなどは見込めない状況である。
	・半導体調達難による影響は改善されてきたが、船便の確保など物流面の課題も残されている。生産計画への影響が払拭されたわけではないため人員確保の判断が難しい。早く安定した生産に戻れることを期待したい。
	・新型コロナ変異種の感染が拡大する中、製造業は、感染者の増加を抑制しつつ製造活動を続けている。石油燃料資源、アルミや鉄鋼の高騰・不足、さらに電力価格の高騰という事態も相まって、忙しいが利益は少ないという状態になりかねない懸念がある。
	・取引先大手事業所において半導体不足による生産調整が実施され、そのため組合業務を一日休業した。

#### 非製造業

セメント卸売業	・7月の天候不順による需要低迷から徐々に持ち直しの兆しが見えてきたが、メーカーとの期初値上げ分の交渉も妥結してない状況で、10月からの追加値上げの要請もあり、袋セメント価格の大幅なコストアップが懸念される。
鮮魚小売業	・鮮魚小売業は、巣ごもり消費が旺盛だった前年には届かなかった。業務卸売業も、飲食店における法人需要の低調で期待する程ではなかった。いずれにせよ、原材料やエネルギー価格の上昇に伴うコスト増加で、収益力の一段の悪化が懸念される。
各種商品小売業	・8月12日～14日まで3年ぶりの夏祭り夜店市を開催したが、13日は台風の上陸で中止した。初日も天気が悪かったが、家族づれなどで賑わった。
	・8月は昨年に比べ帰省客・観光客が若干増えたが、買い回り品などの業種は以前厳しい状況が続いている。
	・オミクロンBA.5の急激な拡大や熱中症警戒のため、組合員店舗の顧客である高齢者の動きが非常に悪い。もっとも昨年と比較しても、ずっと底をはっているようで大きな変化はない。

宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の8月は行動制限もなく、比較的天候にも恵まれ、花火大会等の夏イベントが各地で開催されたため、徐々に夏休みの家族連れで賑わった。県民割の利用によって観光客・宿泊客が増加し、売上は上昇したものの、燃料費の高騰や食材等の仕入れ価格の上昇が利益率を圧迫している。</li> </ul>
総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資材の値上げがこのまま続くと体力の弱い小規模事業者の倒産が増加し、建設業従事者が減少する状況になる。従業員が1人又は2人の事業者の廃業・倒産が数年前から見られるようになっていく。</li> <li>・材料費等が値上がりしているため、売上高は増加したものの、加工費が平行して上がらないため収益は減少した。県内の物件の動きが鈍い感じで見積件数も減少している。</li> </ul>
職別工事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響も含め労務不足が顕著になっている。そのため請負単価が底上げされ、価格交渉が非常に難航している。今後、年末、年度末に向けさらに顕著になっていく模様。</li> </ul>
道路貨物運送業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月は、荷物情報量は昨年比で増加となった。特に食料品や飲料等の出荷が増加した。しかし、新型コロナウイルス感染拡大により配車担当者やドライバーの陽性者や濃厚接触者が増加し、静岡方面に来る車両情報が減少した。燃料供給量に制限を設けられ、更なる価格高騰が懸念される。</li> <li>・人材が不足していて、求める人材が集まらないという声を聞く。比較的高年齢の人材が他業種から転職してくることが以前より増えたが、大型トラックの運転経験がなく、県外の地理も詳しくない人が多い。人材育成に投資したいところだが、50代後半から60代ではなかなか教育に踏み込めない。</li> <li>・引き続き燃料が高値で推移している状況であり、荷主に運賃の交渉ができない企業は燃料の経費増額分を吸収できなくなるだろう。荷主は今後に向けて車両の確保をしていかなければならないと認識している様子であり、今が運賃値上げの交渉時期だと考えている。</li> </ul>
道路旅客運送業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ第7波の影響により旅客需要の回復傾向は足踏み状態になっており、7月の県内全体の運送収入は前年同月を3.5%上回ったものの、コロナ前の2019年同月と比較するとマイナス27.8%とまだまだ厳しい経営環境が続いている。引き続き雇用調整助成金の特例措置の延長や燃料高騰対策など、公共交通機関として事業を存続するために公的支援を切望する。</li> </ul>

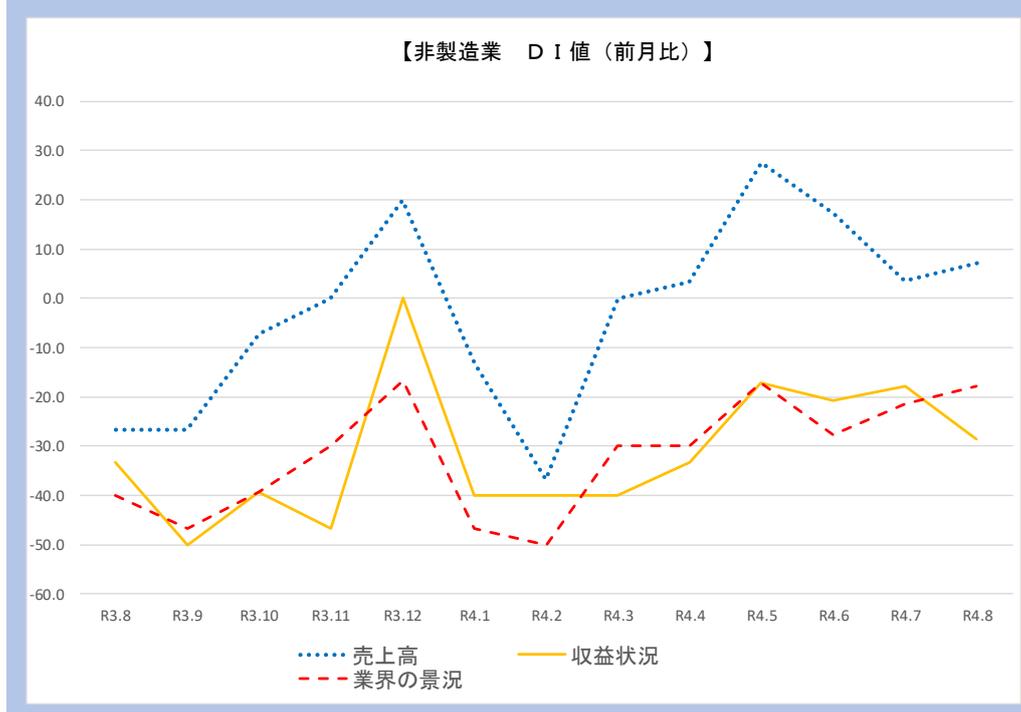
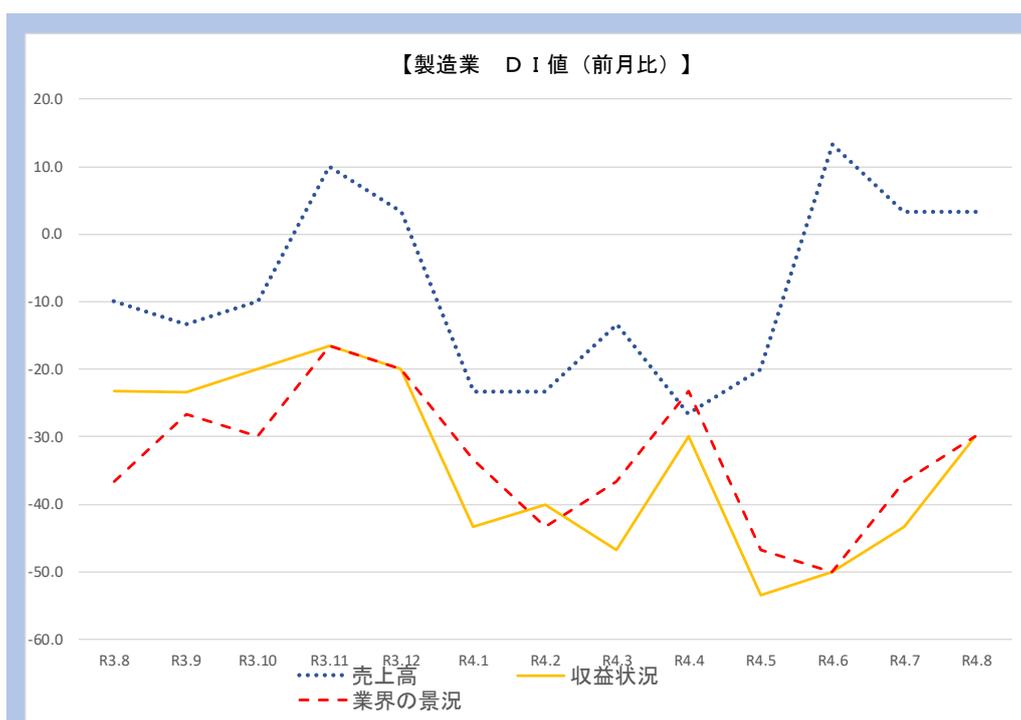
## 4. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2021年8月期～2022年8月期までの推移

全体	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8
売上高	-18.4	-20.0	-8.6	5.0	11.7	-18.3	-30.0	-6.6	-11.7	3.4	15.3	3.5	5.2
収益状況	-28.3	-36.7	-29.4	-31.7	-10.0	-41.7	-40.0	-43.3	-31.7	-35.6	-35.5	-31.0	-29.3
業界の景況	-38.3	-36.6	-34.5	-23.4	-18.4	-40.0	-46.6	-33.4	-26.7	-32.2	-39.0	-29.3	-24.1

製造業	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8
売上高	-10.0	-13.3	-10.0	10.0	3.3	-23.3	-23.4	-13.3	-26.6	-20.0	13.3	3.3	3.3
収益状況	-23.3	-23.4	-20.0	-16.6	-20.0	-43.3	-40.0	-46.7	-30.0	-53.4	-50.0	-43.3	-30.0
業界の景況	-36.6	-26.7	-30.0	-16.6	-20.0	-33.4	-43.4	-36.7	-23.3	-46.7	-50.0	-36.6	-30.0

非製造業	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8
売上高	-26.7	-26.7	-7.1	0.0	20.0	-13.3	-36.7	0.0	3.3	27.6	17.3	3.5	7.1
収益状況	-33.3	-50.0	-39.3	-46.7	0.0	-40.0	-40.0	-40.0	-33.3	-17.2	-20.7	-17.8	-28.5
業界の景況	-40.0	-46.7	-39.3	-30.0	-16.6	-46.6	-50.0	-30.0	-30.0	-17.2	-27.6	-21.4	-17.8



■2021年8月期～2022年8月期までの推移

売上高	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8
製造業	-10.0	-13.3	-10.0	10.0	3.3	-23.3	-23.4	-13.3	-26.6	-20.0	13.3	3.3	3.3
非製造業	-26.7	-26.7	-7.1	0.0	20.0	-13.3	-36.7	0.0	3.3	27.6	17.3	3.5	7.1

収益状況	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8
製造業	-23.3	-23.4	-20.0	-16.6	-20.0	-43.3	-40.0	-46.7	-30.0	-53.4	-50.0	-43.3	-30.0
非製造業	-33.3	-50.0	-39.3	-46.7	0.0	-40.0	-40.0	-40.0	-33.3	-17.2	-20.7	-17.8	-28.5

業界の景況	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8
製造業	-36.6	-26.7	-30.0	-16.6	-20.0	-33.4	-43.4	-36.7	-23.3	-46.7	-50.0	-36.6	-30.0
非製造業	-40.0	-46.7	-39.3	-30.0	-16.6	-46.6	-50.0	-30.0	-30.0	-17.2	-27.6	-21.4	-17.8

